

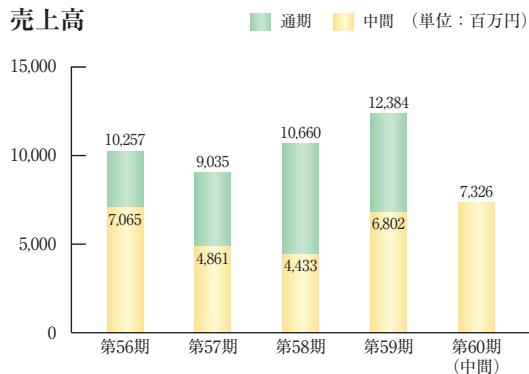
BUSINESS REPORT 2016

第60期 中間報告書
2015.4.1～2015.9.30

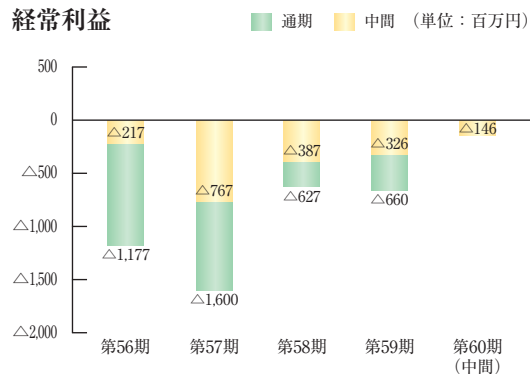
株式会社**田中**化学研究所

財務ハイライト

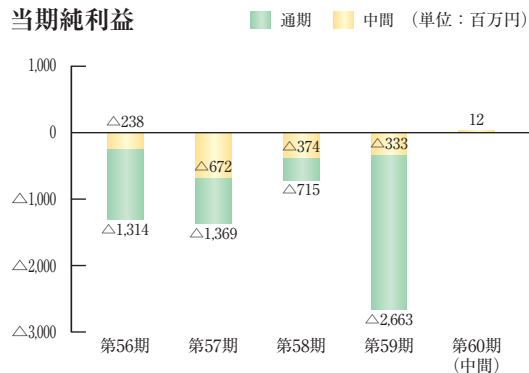
売上高



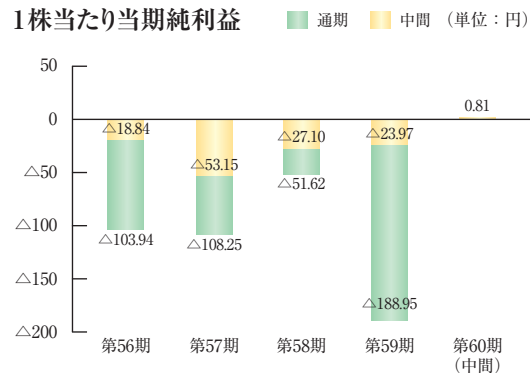
経常利益



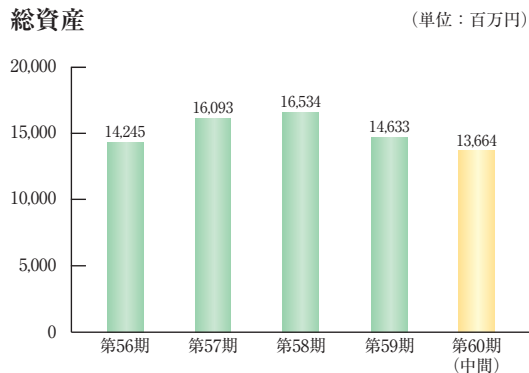
当期純利益



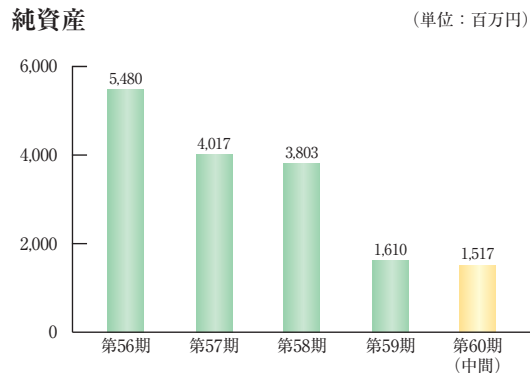
1株当たり当期純利益



総資産



純資産



株主の皆様へ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社の第60期中間期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の事業の概況及び中間決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月



株式会社田中化学研究所
代表取締役 社長執行役員

田中 保

事業の概況

当中間期における二次電池業界は、中長期的には環境対応車用途や住宅用途への需要拡大が期待されておりますが、当初期待より電気自動車関連ビジネスの本格化時期が遅れており、足許の主流は未だ民生用途になっております。当社の販売数量は98%以上を二次電池用正極材料が占めているため同電池市場への販売動向が当社の業績には大きく影響いたします。

民生用途においては、電動工具などへの用途拡大により好調な面がありましたが、スマートフォンを含むタブレット機器の需要の伸長が一段落したこともあり、全体としては成長率が鈍化しております。一方、環境対応車用途においては、各自動車メーカーからの新車種販売が促進されているものの、インフラ整備や1回の充電での走行距離の問題に加え、世界的な原油安などの影響を受けて当初期待と比較すると伸び悩んでいる状況となっております。

このような市場環境の中、当中間期における当社の販売数量は、民生用途及び環境対応車用途のリチウムイオン電池向け新製品が本格的に販売に寄与してきたため、主要顧客の在庫調整の影響を受けた前事業年度第2四半期以降徐々に回復基調であります。しかしながら環境対応車用途の主要顧客における一過性の受注変動や民生用途既存顧客への販売数量減少の影響を受けて前年同期比で2.4%増加に留まりました。

電池別に説明しますと、ニッケル水素電池向け製品では民生用途は堅調に推移したものの、環境対応車用途における主要顧客の一過性の受注変動による減少の影響により、販売数量全体では21.6%の減少となりました。一方、リチウムイオン電池向け製品では、民生用途での主要顧客向け販売数量の減少があったものの、環境対応車用途の新規顧客への販売促進や既存顧客への販売本格化によって販売数量全体では13.0%の増加となりました。

また、当中間期末において当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場が今夏場以降、急激かつ大幅に下落した結果、115,768千円をたな卸資産評価損として計上しております。

一方、財務体質改善目的で実施しました投資有価証券の売却により得られた売却益154,590千円を特別利益として計上しております。

以上の結果、売上高7,326,689千円（前年同期比7.7%増）、営業損失80,654千円（前年同期は営業損失198,448千円）、経常損失146,677千円（前年同期は経常損失326,205千円）、中間純利益は12,038千円（前年同期は中間純損失333,149千円）となりました。

当中間期においては、民生用途二次電池事業の不安定性や継続的な新興国正極材料メーカーとの価格競争など厳しい状況が未だに継続しておりますが、当社としましては、環境対応車用途正極材料に代表される高機能性製品の事業拡大、新規顧客の獲得及び合理化、コスト削減策などの戦略を進めることにより収益力の向上及び財務体質の改善に取り組んでまいります。

【ご参考】

(ニッケル国際相場：円換算) (単位：円/kg)

| | 4-6月平均 | 7-9月平均 | 10-12月平均 | 1-3月平均 |
|--------|--------|--------|----------|--------|
| 28年3月期 | 1,594 | 1,299 | — | — |
| 27年3月期 | 1,904 | 1,948 | 1,825 | 1,722 |
| 26年3月期 | 1,491 | 1,392 | 1,410 | 1,519 |

(コバルト国際相場：円換算) (単位：円/kg)

| | 4-6月平均 | 7-9月平均 | 10-12月平均 | 1-3月平均 |
|--------|--------|--------|----------|--------|
| 28年3月期 | 3,727 | 3,674 | — | — |
| 27年3月期 | 3,230 | 3,488 | 3,619 | 3,688 |
| 26年3月期 | 2,950 | 3,076 | 2,874 | 3,253 |

※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均
コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

財政状態の状況

当中間期末における総資産は前事業年度末比969,424千円減少し、13,664,122千円となりました。

その主な要因は、流動資産が454,172千円、有形固定資産が307,212千円、投資その他の資産が207,161千円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比876,096千円減少の12,146,888千円となりました。その主な要因は借入金が216,499千円、その他の流動負債が721,836千円減少したこと等によるものであります。

純資産は、中間純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金の減少等により前事業年度末比93,328千円減少の1,517,234千円となり、自己資本比率は11.1%となりました。

なお、平成27年6月19日開催の定時株主総会の決議により、資本剰余金1,646,050千円を利益剰余金に振り替えて欠損補填を行っております。これによる純資産額の変動はありません。

キャッシュ・フローの状況

当中間期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して75,759千円増加し、当中間期間末における資金は、3,422,110千円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、238,086千円の増加（前年同期は580,568千円の増加）となりました。これは主に税引前中間純利益19,705千円、減価償却費522,133千円に対し、運転資本の増加による資金の減少144,813千円等があったためであります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、551,372千円の減少（前年同期は199,282千円の減少）となりました。これは補助金の収入3,320千円、投資有価証券の売却による収入202,484千円に対し、設備投資を中心とする有形固定資産の取得による支出756,436千円があったためであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、388,716千円の増加（前年同期は268,712千円の減少）となりました。これは主にセール・アンド・リースバックによる収入668,175千円、長期借入金の返済による支出216,499千円があったためであります。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

| 科目 | 前期 (平成27年3月31日現在) | 当中間期 (平成27年9月30日現在) |
|------------|----------------------|------------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 8,983,792 | 8,529,620 |
| 現金及び預金 | 3,347,476 | 3,423,235 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,752,863 | 1,956,003 |
| 電子記録債権 | 331,448 | 213,622 |
| 商品及び製品 | 914,478 | 916,280 |
| 仕掛品 | 1,092,592 | 1,391,027 |
| 原材料及び貯蔵品 | 683,233 | 480,691 |
| その他 | 861,698 | 148,759 |
| 固定資産 | 5,649,754 | 5,134,501 |
| 有形固定資産 | 5,308,883 | 5,001,670 |
| 建物（純額） | 1,588,564 | 1,529,887 |
| 機械及び装置（純額） | 2,268,933 | 2,011,011 |
| その他（純額） | 1,451,385 | 1,460,772 |
| 無形固定資産 | 18,001 | 17,122 |
| 投資その他の資産 | 322,869 | 115,708 |
| その他 | 323,321 | 116,159 |
| 貸倒引当金 | △ 451 | △ 451 |
| 資産合計 | 14,633,547 | 13,664,122 |

| 科目 | 前期 (平成27年3月31日現在) | 当中間期 (平成27年9月30日現在) |
|---------------|----------------------|------------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 12,331,294 | 11,434,685 |
| 支払手形及び買掛金 | 3,074,850 | 3,113,045 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 8,001,125 | 7,784,625 |
| 未払法人税等 | 10,194 | 12,566 |
| 引当金 | 46,770 | 47,931 |
| その他 | 1,198,354 | 476,518 |
| 固定負債 | 691,689 | 712,202 |
| 引当金 | 5,201 | 16,059 |
| その他 | 686,488 | 696,142 |
| 負債合計 | 13,022,984 | 12,146,888 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 1,492,601 | 1,504,640 |
| 資本金 | 2,492,521 | 2,492,521 |
| 資本剰余金 | 1,646,050 | - |
| 利益剰余金 | △ 2,643,954 | △ 985,865 |
| 自己株式 | △ 2,015 | △ 2,015 |
| 評価・換算差額等 | 117,961 | 12,594 |
| その他有価証券評価差額金 | 120,388 | 12,849 |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 2,427 | △ 255 |
| 純資産合計 | 1,610,562 | 1,517,234 |
| 負債純資産合計 | 14,633,547 | 13,664,122 |

損益計算書（要旨）

（単位：千円）

| 科 目 | 前中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当中間期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高 | 6,802,115 | 7,326,689 |
| 売上原価 | 6,328,391 | 6,827,433 |
| 売上総利益 | 473,723 | 499,255 |
| 販売費及び一般管理費 | 672,172 | 579,909 |
| 営業損失（△） | △ 198,448 | △ 80,654 |
| 営業外収益 | 13,577 | 10,097 |
| 営業外費用 | 141,334 | 76,120 |
| 経常損失（△） | △ 326,205 | △ 146,677 |
| 特別利益 | 58,544 | 192,710 |
| 特別損失 | 62,110 | 26,327 |
| 税引前中間純利益又は税引前中間純損失（△） | △ 329,771 | 19,705 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,155 | 7,716 |
| 法人税等調整額 | 222 | △ 49 |
| 中間純利益又は中間純損失（△） | △ 333,149 | 12,038 |

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

| 科 目 | 前中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当中間期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | 580,568 | 238,086 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 199,282 | △ 551,372 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 268,712 | 388,716 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 14,912 | 327 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | 127,486 | 75,759 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,444,485 | 3,346,351 |
| VII 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 3,571,971 | 3,422,110 |

会社概要（平成27年9月30日現在）

| | |
|---------|-------------------------------------------|
| 商 号 | 株式会社田中化学研究所 |
| 設 立 | 昭和32年12月 |
| 資 本 金 | 2,492,521千円 |
| 主な事業内容 | 当社は、二次電池用の正極材料ならびに触媒用薬品の製造販売を主な事業としております。 |
| 従 業 員 数 | 180名（前事業年度比増減なし） |

役員状況（平成27年9月30日現在）

| | |
|-------------|---------|
| 代表取締役社長執行役員 | 田 中 保 |
| 取締役常務執行役員 | 茂 莉 雅 宏 |
| 取締役執行役員 | 嶋 川 守 雄 |
| 取 締 役 | 久 野 和 雄 |
| 常 勤 監 査 役 | 大 嶋 哲 夫 |
| 監 査 役 | 増 田 仁 視 |
| 監 査 役 | 篠 原 芳 明 |

株式の状況（平成27年9月30日現在）

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株
- ②発行済株式の総数 普通株式 14,850,800株
- ③株 主 数 9,400名
- ④大株主の状況

| 株 主 名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|---------------|-----------|---------|
| 住友化学株式会社 | 2,200,000 | 14.81 |
| 田中 保 | 1,264,200 | 8.51 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 460,000 | 3.09 |
| 田中 浩 | 390,000 | 2.62 |
| 株式会社福井銀行 | 300,000 | 2.02 |
| 住友商事株式会社 | 250,000 | 1.68 |
| 住友生命保険相互会社 | 210,000 | 1.41 |
| 山中夕典 | 200,000 | 1.34 |
| 日本証券金融株式会社 | 190,300 | 1.28 |
| 田中 学 | 171,000 | 1.15 |
| 田中 健 | 171,000 | 1.15 |

（注）持株比率は自己株式（1,037株）を控除して計算しております。

株主メモ

| | |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel : 0120-094-777 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 (JASDAQ市場) |
| 公告方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.tanaka-chem.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。) |

ホームページのご案内



田中化学研究所ホームページ
<http://www.tanaka-chem.co.jp/>
最新の当社IR情報等をご覧ください。

お知らせ

株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。